

正午頃端出場ニ於テ鹿森、新田、立川、角野、川西各部
落ノ者四十二名発表

午後東平ニ於テ一本松、柳、唐、吳、木、森、三谷ノ各部員
二十九名発表セリ而シテ右発表ニ先テ鷗尾労働課
長ハ端出場東平ニ於テ改善會幹部ヲ集合セシメ
予メ解雇者七十一名ノ氏名ヲ告ゲ次デ解雇者以外ノ組
合員切崩策ヲ指示シタリソノ結果二十七日ヨリ二十八日ニ
亘リ切崩中

立川部落十数名西部部落数名ノ脱會者アリタリ
今回ノ紛議ニ於テハ鉦業所側ノ態度ハ終始一貫強硬ニ
シ殆ど妥協的意見ナキモノノ如シ

四、大改兵庫其他ノ方面ニ於ケル労働組合側會社側ノ動靜
(二)大改其他方面ノ状況

大正十四年十二月十五日正午労働總同盟關士大矢省三
小原傳吉、梅本卷三郎、白石伴次、住友合資會社總
本店ニ出頭津田課長ト會見

別子鉦山労働者大會決議文提出回答ヲ求ム
回答要領ヲ得テトテ奮慨ス

決議文ノ内贖次ノ如シ

大正十四年十二月十日開催シタル別子鉦山労働者大會ハ
左ノ數項ニ関シ住友本社ニ質問ヲ答ス

一、鷗尾尾労働課長ハ極メテ靜南ニ柔順ニ吾等ノ労働
條件ニ関シ條理ヲ盡シテ歎願セントスルニ吾等ノ代
表者ニ対シ當ニ面會ヲ拒絶スルノミナラズ暴漢ヲシテ
暴力ヲ以テ退去セシメタ之レ住友本社ノ意志ナリヤ如
何